

公務上死亡災害の発生状況

(平成29年度認定分)

平成31年2月

地方公務員災害補償基金

第2 公務上死亡災害発生事例

(2) 石綿曝露による被災

【事例6】石綿が飛散していた職場に在籍したことによる曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：運輸事業職員

死亡年齢：70歳代 災害発生年月：平成21年11月

傷病名：悪性胸膜中皮腫

(概要)

被災職員は、列車のブレーキや隧道内工事により石綿が飛散していた職場に在籍していました。健康診断をきっかけに医療機関を受診したところ、悪性胸膜中皮腫と診断された。

【事例7】ボイラー修理等に従事したことによる曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：その他の職員
死亡年齢：80歳代 災害発生年月：平成27年9月
傷病名：悪性胸膜中皮腫

(概要)

被災職員は、病院にてボイラー技師として勤務していた。ボイラー修理等の業務を行った際、石綿に接触し吸入したため、悪性胸膜中皮腫を発症したもの。

【事例8】石綿を含む建物の施工管理に従事したことによる曝露

団体区分：都道府県 職員の区分：その他の職員
死亡年齢：40歳代 災害発生年月：平成28年12月
傷病名：悪性胸膜中皮腫

(概要)

被災職員は、設備技師として施工管理に係る業務を行った際、石綿に接触し吸入したため、悪性胸膜中皮腫を発症したもの。